

従業員の環境意識の向上や地域社会の環境保全を目的に、各地域でさまざまな活動を行っています。

## 各事業所における取り組み

### ○ 森づくりプロジェクト 第1回植林イベントに参加

YCIC (中国) は、2017年3月に開催された華南以北地域を中心に進む砂漠化や大気汚染などの環境課題の解決を目的とする植林イベントに参加しました。この活動は、中国日本商会が主催する森づくりプロジェクトの一環として実施され、河北省涿州市に桜やヘキトウジュなど約1,200本の苗木を植樹しました。参加した従業員にとって、自然の恵みに感謝し、自然を大切にする姿勢の重要性をあらためて実感するよい機会となりました。植林イベントの様子



植林イベントの様子

### ○ 不法投棄廃棄物の撤去作業に参加

矢崎部品(株) 牧之原工場鷺津分工場(静岡県湖西市)は、2016年7月、静岡県産業廃棄物協会主催の不法投棄廃棄物の撤去作業に参加しました。この活動は、不法投棄が多い場所を清掃し、不法投棄の抑止につなげることを目的としており、静岡県西部の企業や産業廃棄物処理業者、自治会が参加しています。矢崎グループの参加者は、引き上げられた約2.7トンにおよぶ廃棄物分別作業に従事しました。今後も地域ぐるみの活動に継続して参加し、不法投棄の未然防止に努めます。



廃棄物の撤去作業の様子

### ○ 運河の水質改善活動

汚染された運河の水から発生する悪臭は、人々の健康を害するおそれがあるため、水質の改善が求められています。そこで、TYE (タイ)では、2016年12月、水を浄化する微生物を入れた団子を約1,000個つくり、事業所近くの運河に投入しました。



団子を手づくりする従業員

### ○ 廃食油のリサイクル推進

矢崎部品(株)の新見工場(岡山県新見市)では、2011年度より従業員の家庭の廃食油(使用済みの食用油)を回収し、リサイクル業者へ売却しています。集められた廃食油はバイオディーゼル燃料として再生され、重機などの燃料に使用されています。この取り組みに参加する従業員は年々増加し、2016年度は約260リットルの廃食油を回収しました。また、売却して得たお金は、従業員が福祉施設を訪問する際の寄贈品の購入代として使用しており、2016年度は養護老人ホーム和みの郷かなや様へティッシュペーパーを寄贈しました。



寄贈したティッシュペーパー

### ○ 空調機から排出されたドレン水の再利用

慢性的な水不足に悩まされているモロッコでは、貴重な資源である水の節約や再利用に積極的に取り組んでいます。YMK(モロッコ)では、空調機器を使用する際に発生するドレン水<sup>\*</sup>を水資源として確保し、再利用を推進しています。この取り組みにより、年間約20,800リットルの水を貯水できました。貯水した水は、清掃や植木の水やりなどに使用しています。また、バッテリー補充液としても使用することで、年間1,000リットルの純水の購入を廃止しました。

<sup>\*</sup> ドレン水 空気中の水蒸気が熱を失って凝縮した水のこと



バッテリー補充液



貯水した水で清掃を行う従業員